

ダム建設反対懇願書

報道機関用

熊本県知事 木村 敬 様

五木村長は4月21日に、穴あき型の川辺川ダム建設受け入れを表明しましたが 住民集会などを開いてダムの賛否を話し合うこともせず この表明は我々五木村民の総意に基づくものではなく 村長の個人的な判断です

私達13名は5月17日この表明に強く抗議し、表明の撤回を求めています 知事は前知事の路線(歪んだバトン)を引き継ぎ ダム建設を推進しています

が そもそも前知事は私との電話会話の中で「黒木さん本当は私も ダムはほしくないのですよ。とか天の声が・天の声がして・天の声が……」と 誰かに脅かされているように感じました

本日は私達のダム反対の意思を直接 知事に伝えたく 下記の通り懇願致します

親の代から振り回され犠牲になった日常が 2008年ダム白紙撤回で ようやく全面解決したはずでした ところが 2020年7月の豪雨災害の発生によって その災害原因の検証をきちんとすることもなく 突然ダム建設の話が出てきました。 ではその災害の原因が何なのか と言う説明はまだ1度もありません

五木をダムで水没させるのであれば ダムの必要性を我々村民に説明し我々に寄り添って意見も聞いたうえで どうするかを住民と共に判断すべきです

2022年9月台風14号が県内を通過した時は2020年の雨量を上回る雨が

川辺川上流や球磨川上流で降りました（国交省も確認済み）

しかし 2022 年は相良村 人吉市 球磨村など下流域で川の氾濫はありませんでした

と言うことは 2020 年の豪雨災害の原因は川辺川ではないし 知事は国交省の説明だけを鵜呑みにしていますが 流域住民の日常的かつ継続的な目撃による情報や説明を正しく受け取り ダムの必要性を県独自で判断すべきです

理由は 2020 年の災害の原因が川辺川である と言うことを未だに誰も証明していませんから

県は流域住民の目撃説明より 水没して機能不全だった機械から得たデータが正しいとしていますが 県の責任で真実を公表すべきです

そう言う責任説明もなく ダム建設の話が進むのは 到底納得できません
ダムは五木村は本より 相良村にも 百害あって一利なしの迷惑施設です
我々にとって何のメリットもないばかりか 五木源パークやヴィラ ITUKI
なども使えなくなり 昔ながらの頭地が消え 平地がなくなり 川で泳ぐこと
や遊ぶことが出来なくなります

日本一の巨大なダムなどいません

今の環境を維持して日本の古里のイメージを五木村に残せば 自然の山や川に魅かれた人たちが 全国から押し寄せて来ます

今年も早速 釣り人や清流で泳いでいる人を大勢見かけます

我々はダムなどない方がいいし 自然豊かな歴史ある五木村を未来に残したい。

そう言う気持ちで ここにダム反対の懇願書を提出致します。

2024 年 6 月 26 日

五木村民有志 13 名